



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 山田コンサルティンググループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4792 URL <https://www.yamada-cg.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）増田 慶作
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）首藤 秀司 TEL 03-6212-2500
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト・個人投資家向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	13,367	7.6	2,090	△27.8	2,037	△27.9	1,415	△25.8
2025年3月期中間期	12,422	8.3	2,897	83.3	2,827	74.3	1,908	49.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,416百万円（△27.9%） 2025年3月期中間期 1,965百万円（35.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	74.07	74.06
2025年3月期中間期	100.09	100.03

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	25,425	19,299	73.7
2025年3月期	23,470	18,580	76.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 18,741百万円 2025年3月期 18,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	38.00	—	39.00	77.00
2026年3月期	—	38.00			
2026年3月期（予想）			—	39.00	77.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	14.2	3,800	△8.0	3,700	△9.7	2,750	△4.5	143.86

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 売上高は14.2%増、売上総利益は0.9%増と予想しております。これは投資事業において2025年3月期は投資株式・投資不動産の売却等により売上高2,410百万円、売上原価1,176百万円、売上総利益1,234百万円計上したのに対し2026年3月期の同事業の売上高は5,200百万円、売上原価4,030百万円、売上総利益1,170百万円と予想しているためであります。コンサルティング事業は売上高2.1%増、売上総利益1.3%増と予想しております。営業利益は8.0%減と予想しておりますが、人員増加及び既存人員の昇給による人件費増加等により販売費及び一般管理費を3.3%増と予想しているためであります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	19,896,000株	2025年3月期	19,896,000株
2026年3月期中間期	772,670株	2025年3月期	797,022株
2026年3月期中間期	19,107,535株	2025年3月期中間期	19,068,635株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（半期決算補足説明資料及び半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年11月11日（火）（13時30分開始）に半期決算説明会（Zoomウェビナーを用いたライブ配信）を開催する予定です。本説明会はどなたでもご視聴いただけます。

<参加お申し込み方法>

事前登録制とさせていただきます。

以下URLよりZoomウェビナー登録ページにお進みいただき、必要事項をご登録ください。

登録ページ : https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_qa9VM2PuRlam7onzujxpKg

申込期日 : 2025年11月11日（火）10時00分まで

なお、この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで同日開示するとともに当社ウェブサイトにも同日掲載する予定です。

また、この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループの当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）の業績は、売上高13,367,944千円（前年同期比7.6%増）、売上原価3,551,247千円（同61.5%増）、売上総利益9,816,697千円（同3.9%減）、営業利益2,090,315千円（同27.8%減）、経常利益2,037,750千円（同27.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益1,415,356千円（同25.8%減）となりました。

前年同期比で減益となっておりますが、これは前連結会計年度は2024年3月に連結子会社となったピナクル株式会社においてM&A案件の成約が上期に集中し業績が上振れたこと等により、営業利益の計上が中間期に偏ったことによるものであります（前期通期営業利益実績4,132,677千円、前中間営業利益実績2,897,282千円 通期営業利益実績に対して70.1%の営業利益を中間期で計上）。

当中間連結会計期間につきましては、営業利益実績の通期業績予想に対する進捗率が55.0%となっており、順調な業績となりました。

当中間連結会計期間の実績、前年同期比及び通期業績予想は以下の表のとおりであります。

※当中間連結会計期間の実績及び通期業績予想 (単位：千円)

	当中間 会計期間の実績	前中間 会計期間の実績	前年同期比		通期 業績予想	通期業績予想に 対する進捗率	前期 通期実績
			増減額	増減率			
売上高	13,367,944	12,422,596	+945,348	+7.6%	26,000,000	51.4%	22,761,078
売上総利益	9,816,697	10,224,854	△408,157	△3.9%	19,600,000	50.0%	19,423,533
営業利益	2,090,315	2,897,282	△806,967	△27.8%	3,800,000	55.0%	4,132,677
経常利益	2,037,750	2,827,341	△789,590	△27.9%	3,700,000	55.0%	4,099,798
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	1,415,356	1,908,671	△493,314	△25.8%	2,750,000	51.4%	2,882,297

各セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業の当中間連結会計期間の業績は、売上高9,647,846千円（前年同期比4.9%減）、売上総利益8,680,329千円（同4.4%減）、営業利益1,107,863千円（同41.2%減）となりました。

前年同期比で減収減益となっておりますが、これは前中間期は2024年3月に連結子会社となったピナクル株式会社においてM&A案件の成約が上期に集中し業績が上振れたこと、及び人件費増等により販売費及び一般管理費が前年同期比376,882千円増加したことによるものであります。

当中間期は事業承継コンサルティング事業及び不動産コンサルティング事業が引き続き順調であり、経営コンサルティング事業及びM&Aアドバイザー事業においても案件相談・受注が引き続き堅調に推移しております。当中間期の営業利益の通期業績予想に対する進捗率は37.8%となっておりますが、各コンサルティング事業の案件受注状況は順調でありますので、通期業績予想は達成できると見込んでおります。

※コンサルティング事業の当中間連結会計期間の実績及び通期業績予想 (単位：千円)

	当中間 会計期間の実績	前中間 会計期間の実績	前年同期比		通期 業績予想	通期業績予想に 対する進捗率	前期 通期実績
			増減額	増減率			
売上高	9,647,846	10,147,082	△499,236	△4.9%	20,800,000	46.3%	20,355,559
売上総利益	8,680,329	9,082,505	△402,175	△4.4%	18,430,000	47.0%	18,187,587
営業利益	1,107,863	1,886,922	△779,058	△41.2%	2,930,000	37.8%	3,177,147

※(参考数値) コンサルティング事業の売上高、売上総利益の事業分野別内訳 (単位: 百万円)

事業分野		当中間 会計期間の実績	前中間 会計期間の実績	前年同期比 (増減率)
経営コンサルティング事業	売上高	3,835	3,934	△2.5%
	売上総利益	3,481	3,549	△1.9%
M&Aアドバイザー事業	売上高	4,220	4,872	△13.3%
	売上総利益	3,846	4,398	△12.5%
	(注)成約件数	44件	56件	△12件
事業承継コンサルティング事業	売上高	924	879	+5.1%
	売上総利益	843	795	+6.0%
不動産コンサルティング事業	売上高	667	460	+44.9%
	売上総利益	509	339	+50.0%
合計	売上高	9,647	10,147	△4.9%
	売上総利益	8,680	9,082	△4.4%

(注) M&Aアドバイザー事業の成約件数は、仲介業務の場合、1案件を1件とカウントしております。

(投資事業)

投資事業の当中間連結会計期間の業績は、売上高3,742,285千円(前年同期比64.1%増)、売上総利益1,138,830千円(同0.3%減)、営業利益984,913千円(同2.5%減)となりました。

未上場株式投資事業において投資先株式の売却があったこと、不動産投資事業においても投資不動産の売却があったことから順調な業績となり、営業利益の通期業績予想に対する進捗率は113.2%と順調に推移しております。

2025年9月末投資残高

未上場株式投資事業における営業投資有価証券残高7,365,431千円

不動産投資事業における不動産投資残高1,530,428千円

※投資事業の当中間連結会計期間の実績及び通期業績予想 (単位: 千円)

	当中間 会計期間の実績	前中間 会計期間の実績	前年同期比		通期 業績予想	通期業績予想に 対する進捗率	前期 通期実績
			増減額	増減率			
売上高	3,742,285	2,279,786	+1,462,498	+64.1%	5,200,000	71.9%	2,410,351
売上総利益	1,138,830	1,142,349	△3,518	△0.3%	1,170,000	97.3%	1,234,229
営業利益	984,913	1,010,359	△25,446	△2.5%	870,000	113.2%	953,813

(従業員の状況)

連結従業員数

(単位：名)

	2025年3月末	2025年9月末
総合コンサル職	656	705
専門コンサル職	214	229
コーポレート職	197	210
合計	1,067	1,144

(注) 役員、顧問、出向受入を除く。臨時従業員を含む。

入社数・退職数

(単位：名)

	2025年3月期	2026年3月期中間期		
		単体及び国内子会社	海外子会社	計
新卒入社数	21	29	—	29
中途入社数	157	79	32	111
退職数	121	36	27	63

(注) 役員、顧問、出向受入を除く。臨時従業員を含む。

(2) 当中間期の財政状態の概況

<キャッシュ・フローの状況>

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが473,977千円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが737,389千円の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが1,656,322千円の資金増となったことから、全体では1,386,488千円の資金増（前年同期は877,052千円の資金減）となりました。その結果、当中間連結会計期間末の資金残高は10,256,926千円になりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、473,977千円（前年同期は406,759千円の資金減）となりました。

営業投資有価証券の増加額487,253千円（主として未上場株式投資事業での株式投資実行）、棚卸資産の増加額137,374千円（主として不動産投資事業での販売用不動産の投資実行）、法人税等の支払額710,382千円、その他の負債の減少額932,684千円等の資金減少要因があった一方で、税金等調整前中間純利益が2,037,750千円あったこと、売上債権の減少額309,298千円、その他の資産の減少額311,068千円等の資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、737,389千円（前年同期は652,589千円の資金減）となりました。

これは、敷金及び保証金の差入による支出473,001千円、投資有価証券の取得による支出210,078千円、有形固定資産の取得による支出50,780千円等の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は、1,656,322千円（前年同期は190,626千円の資金増）となりました。

これは、配当金の支払額744,860千円等の資金減少要因があった一方で、短期借入金の増加額2,392,000千円等の資金増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の営業利益が2,090百万円と通期営業利益予想に対する進捗率が55.0%と業績は順調に推移しており、通期業績予想に変更はありません。引き続き、以下のそれぞれの分野に注力し、各事業を進めてまいります。

■セグメント別の主な注力分野のポイント

①コンサルティング事業(セグメント)

＜経営コンサルティング事業＞

- ・経営戦略・IT戦略・人材戦略等を複合的に一貫して支援し、中堅企業の持続的成長を支援するコンサルティング
- ・財務再生にとどまらず、顧客企業の収益力向上や組織変革まで伴走する事業再生コンサルティング
- ・顧客企業の海外展開を、戦略策定から各国の現地社員によるリサーチに基づく検証・戦略遂行まで、日本と海外を一体となってサポートする海外成長戦略支援

＜M&Aアドバイザリー事業＞

- ・投資前のデューデリジェンスから投資後の成長戦略策定まで、一貫したM&Aサービスを提供
- ・上場企業の非公開化やPEファンドによる投資案件をはじめとする、特に高い専門性を必要とするファイナンシャルアドバイザリー支援

＜事業承継コンサルティング事業＞

- ・会計・財務・税務・事業の専門家による、顧客企業(中小・中堅・上場)に対する事業承継支援
- ・顧客企業の資産運用ニーズに幅広く応える資産運用支援

②投資事業(セグメント)

＜未上場株式投資事業＞

- ・各種コンサルティングと併せた資金面のソリューション提供による資本政策上の課題解決と企業の持続的発展サポート
- ・投資先に関する定期的なモニタリングと、経営コンサルティング機能も活用した企業価値向上への貢献

＜不動産投資事業＞

- ・換金性の低い底地等について新規投資案件の発掘
- ・投資物件の権利関係調整等による付加価値向上及び売却体制の強化

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,147,114	10,523,374
売掛金	1,569,274	1,259,975
有価証券	37,133	45,328
営業投資有価証券	7,004,398	7,491,651
商品及び製品	1,415,048	1,552,422
その他	989,755	871,282
貸倒引当金	△14,231	△18,782
流動資産合計	20,148,493	21,725,252
固定資産		
有形固定資産	527,535	631,584
無形固定資産		
のれん	633,748	575,427
その他	28,972	24,126
無形固定資産合計	662,720	599,554
投資その他の資産		
投資有価証券	562,609	776,680
敷金及び保証金	738,119	1,197,072
繰延税金資産	404,878	98,536
その他	426,171	397,272
投資その他の資産合計	2,131,778	2,469,561
固定資産合計	3,322,034	3,700,700
資産合計	23,470,528	25,425,952
負債の部		
流動負債		
買掛金	311,193	281,998
短期借入金	1,600,000	3,992,000
未払費用	1,480,082	582,172
未払法人税等	488,473	406,050
賞与引当金	65,000	—
役員賞与引当金	60,000	—
その他	769,597	745,753
流動負債合計	4,774,347	6,007,974
固定負債		
退職給付に係る負債	43,853	43,769
繰延税金負債	35,326	37,856
その他	36,974	36,605
固定負債合計	116,153	118,232
負債合計	4,890,500	6,126,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,599,538	1,599,538
資本剰余金	1,588,838	1,613,942
利益剰余金	14,978,175	15,648,671
自己株式	△466,417	△452,166
株主資本合計	17,700,134	18,409,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,590	26,741
為替換算調整勘定	313,425	304,741
その他の包括利益累計額合計	335,016	331,483
新株予約権	4,991	6,278
非支配株主持分	539,886	551,997
純資産合計	18,580,027	19,299,745
負債純資産合計	23,470,528	25,425,952

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,422,596	13,367,944
売上原価	2,197,741	3,551,247
売上総利益	10,224,854	9,816,697
販売費及び一般管理費	7,327,572	7,726,382
営業利益	2,897,282	2,090,315
営業外収益		
受取利息	22,466	17,711
投資有価証券売却益	14,778	—
新株予約権戻入益	1,605	—
その他	11,266	17,343
営業外収益合計	50,117	35,054
営業外費用		
支払利息	7,262	14,114
投資事業組合運用損	5,398	6,225
為替差損	74,415	28,279
支払手数料	10,890	36,096
その他	22,090	2,902
営業外費用合計	120,057	87,619
経常利益	2,827,341	2,037,750
税金等調整前中間純利益	2,827,341	2,037,750
法人税、住民税及び事業税	586,599	320,318
法人税等調整額	226,750	305,782
法人税等合計	813,349	626,100
中間純利益	2,013,991	1,411,650
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	105,320	△3,706
親会社株主に帰属する中間純利益	1,908,671	1,415,356

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,013,991	1,411,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,888	5,151
為替換算調整勘定	△22,680	35
その他の包括利益合計	△48,569	5,186
中間包括利益	1,965,422	1,416,836
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,851,617	1,411,824
非支配株主に係る中間包括利益	113,804	5,012

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,827,341	2,037,750
減価償却費	88,785	81,913
のれん償却額	56,851	54,814
賞与引当金の増減額(△は減少)	77,496	△65,000
受取利息及び受取配当金	△22,466	△17,711
支払利息	7,262	14,114
為替差損益(△は益)	74,415	28,279
投資事業組合運用損益(△は益)	5,398	6,225
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,910,019	△487,253
売上債権の増減額(△は増加)	181,094	309,298
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△170	4,551
棚卸資産の増減額(△は増加)	△402,117	△137,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△130,307	△29,194
その他の資産の増減額(△は増加)	1,293,714	311,068
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,325,623	△932,684
小計	821,656	1,178,799
利息及び配当金の受取額	22,537	17,504
利息の支払額	△4,925	△11,944
法人税等の支払額	△1,246,027	△710,382
営業活動によるキャッシュ・フロー	△406,759	473,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,223	△50,780
有形固定資産の売却による収入	109,071	—
無形固定資産の取得による支出	△451	△5,760
投資有価証券の取得による支出	△10,120	△210,078
投資有価証券の売却による収入	285,251	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△841,779	—
敷金及び保証金の差入による支出	△113,295	△473,001
敷金及び保証金の回収による収入	108	1,271
その他	△2,150	959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,589	△737,389
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,000,000	2,392,000
非支配株主からの出資受入による収入	14,415	13,345
非支配株主への分配金の支払額	△14,572	△6,246
自己株式の処分による収入	10,416	2,083
配当金の支払額	△819,627	△744,860
その他	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,626	1,656,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,330	△6,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△877,052	1,386,488
現金及び現金同等物の期首残高	9,687,844	8,870,438
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,810,792	10,256,926

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コンサルティング事業	投資事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,142,810	2,279,786	12,422,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,272	—	4,272
計	10,147,082	2,279,786	12,426,869
セグメント利益	1,886,922	1,010,359	2,897,282

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとののれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、当社子会社Yamada Consulting Group USA Inc.がTakenaka Partnersの全株式を取得し同社を連結の範囲に含めております。当該事象に伴い、コンサルティング事業セグメントにおいて、のれん4,752千円(701,288千円)が発生しております。

II 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コンサルティング事業	投資事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,625,659	3,742,285	13,367,944
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,186	—	22,186
計	9,647,846	3,742,285	13,390,131
セグメント利益	1,107,863	984,913	2,092,777

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	2,092,777
未実現利益の調整額	△2,462
中間連結損益計算書の営業利益	2,090,315